

水稲



農作業メモ



水稲
吉田 義文
指導販売課
0969-22-1105

中干し後からの水管理

中干し終了後(平年5月末日)から穂ばらみ期前までは、間断灌水で管理し、水と空気を根に補給し根の活力を上げ登熟向上に努めてください。

穂ばらみ期から出穂期にかけては稲の体力消耗が激しくなりますので、深水管理を行いましょ。

穂肥施用

6月上旬より幼穂の観察を行い、穂肥の施用時期を見つけましょう。畦から1メートル以上水田に入り標本を採ります。標本は株の最長葉の茎を一枚のほ場から3株以上取ります。茎は一枚ずつはいで、幼穂の長さを測ります。長さが1.0~1.5ミリの頃に穂肥を施用します。

穂肥の目安 (出穂前25日前後……幼穂長1.0~1.5ミリ) 稲の葉色を見て適正な量を施用してください。

葉色	4未満	4以上4.5未満	4.5以上
有機苦土047	15kg	10kg	施用しない

葉色の判定は、葉色板(カラスケール)を使用してください。太陽を背にして稲の葉色を見ましょ。

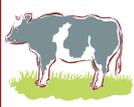
病虫害防除

特別栽培においては防除回数に限られていますので、健全な稲作りと畦畔の草刈り等や、ほ場の見回りの徹底による耕種的防除と組み合わせた適期防除に努めてください。

尚、今年産も、いもち病・穂枯れ病・紋枯れ病等の対応として、オリブライトの散布(10a当/1kg)をお願い致します。

防除の際は、使用基準を遵守し飛散等のないよう心がけるとともに、栽培管理台帳への記入をお願いします。

畜産

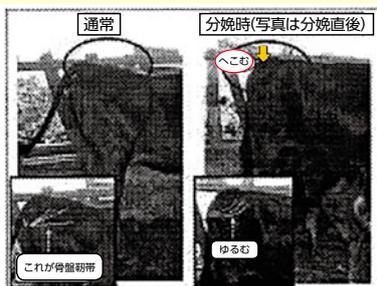


お産について



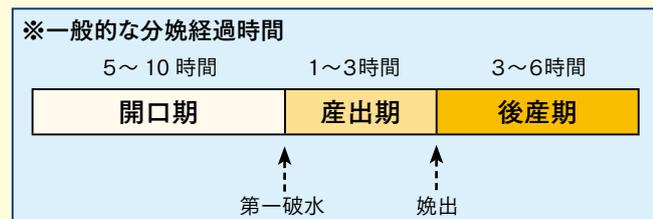
畜産
井上 正一
黒毛牛検定センター
080-1729-1626

和牛の平均妊娠期間は285日間と言われています。お産の始まる兆候としては乳房のハリや外陰部の変化など個体によって様々ですが骨盤靭帯の緩みが比較的確実な兆候と言われています。このサインが出てから12時間以内に分娩と考えていいようです。

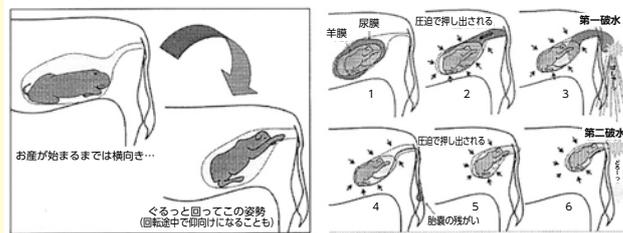


母牛は子牛の号令によってお産の準備を始めます。子牛が「生まれたいホルモン」を出すことによって母牛は妊娠維持ホルモンから「準備するわホルモン」に切り替えます。これから陣痛が始まります。

一般的な分娩経過時間は下の図のようになっています。



1 開口期 初めにごく弱い陣痛が始まり間隔がだいに短くなります。母牛が歩き回ったり、餌を食べるのをやめたりする時期です。この時期に子牛は産道に合う姿勢に体の向きをかえています。(左下図)



2 産出期 いきみ始めから子牛が完全に出てくるまでには1~2時間、初産の場合2~3時間程度かかります。(右上図) この時期に2回の破水があり「第一破水」は透き通ったオレンジ色の液体が出てきます。ここからしばらくいきむ状態が続きます。次に外陰部から白い袋(羊膜)が出て圧迫により破れ、とろみの強い透明の液体が流れ出します。これが「第二破水」でこの羊膜の中に子牛が入っています。ちなみに子牛の腰が出てくるまでは基本的に臍帯は胎盤とつながっています。

3 後産期 子牛が完全に出た後は後産期陣痛というものが続いており不要となった胎盤が分娩後3~6時間で排出されます。その後の汚露については分娩後2.3日あたりで最もたくさん排出され最終的に半月ほどでおさまります。

・実際は…
現場では思い通りにいかないのが生き物の難しいところですよ。よく観察しお産に気づいたら時刻をチェックするようにしましょう。また破水を発見したら第1破水か第2破水かを色で確認するようにしましょう。

早期に異常を発見するには正常な分娩のステージを知ることが重要です。個体によっても様々ですのでふだんから観察することを心がけましょ。



5月の柑橘園管理



果樹
白石 一斗
下島営農指導センター
080-1729-1633

1. 病害虫防除

例年より生育が早くなっております。今後の生育状況に合わせて遅れないように防除を行いましょ。

○温州みかん

時 期	対象病害虫	薬 剤 名	希釈倍数
上旬～中旬 (開花期間)	ケシキスイ類 コアオハナムグリ	モスピランSL液剤	4,000倍
	灰色カビ病	ファンタジスタ顆粒水和剤	4,000倍
中旬～下旬 (開花盛期～落弁期)	黒点病	ナティーボフロアブル	1,500倍

○中晩柑

時 期	対象病害虫	薬 剤 名	希釈倍数
上旬～中旬 (開花期間)	ケシキスイ類 コアオハナムグリ	モスピランSL液剤	4,000倍
	灰色カビ病	ファンタジスタ顆粒水和剤	4,000倍
中旬～下旬 (開花盛期～落弁期)	ホコリダニ	アグリメック	2,000倍
	黒点病	ナティーボフロアブル	1,500倍

※養蜂が行われている地区では、周辺への飛散に注意して下さい。
 ※ケシキスイ類・コアオハナムグリはエクシレルSE 5,000 倍も使用可
 ※灰色カビ病・そうか病はフルーツセイバー 1,500 倍も使用可
 ※カイガラムシの多い園ではアプロードエースフロアブル1,000 倍を使用。
 遅れ花のホコリダニ対策はアプロードエースフロアブル2,000 倍を使用。

2. 葉面散布

発芽～開花期は前年の貯蔵養分で活動します。新梢の充実と養分補給の為、チッ素主体の葉面散布を行いましょ。また、展葉後は早期に緑化を促進させる為、マグネシウムの葉面散布を行いましょ。

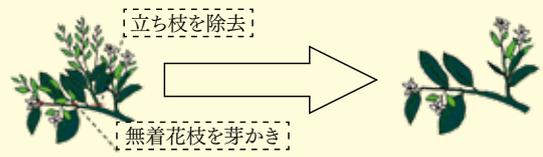
時 期	薬剤名	希釈倍数	備 考
新梢伸長期 ～開花期	尿 素 アミノジューシー N14 神協スピリッツ	500倍	樹勢維持 (いずれかを使用)
	ジューシーカル	1,000倍	新梢充実
展葉期(4～6月)	葉面マグ	200倍	緑化促進 苦土欠対策

3. せん定の実施 (蕾が小豆～大豆大の頃)

新梢の発生により被さり枝がある場合は、花に日が当たるように除去しましょ。

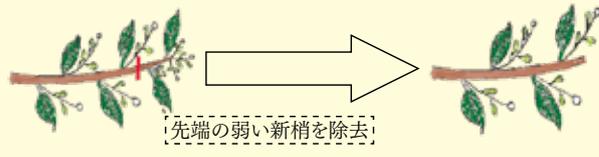
○花が少ない場合

徒長枝の除去や無着花枝の芽かきを行い、着果促進を図りましょ。



○花が多い場合

先端部の弱い新梢を除去する。
 着花が多いと予想される園では樹勢維持の為、花肥えを行いましょ。
 ハイヤ1号 1袋/10a



4. 着果対策 (かんきつ)

ジベレリンの散布…ジベレリンを散布する事により、着果性が向上します。主に赤道部を中心に散布しましょ。尿素を500倍加用する事により効果が上がります。

○使用時期…開花～満開10日後(開花後処理時期が早いほど効果が高い)

○ジベレリン希釈表(開花期 25ppm)

ジベレリン液剤 40mlの場合	水 8L に 1本	尿素 500倍 (16g)	使用液量 10a 当たり 50～100ℓ
ジベレリン液剤 100mlの場合	水 20L に 1本	尿素 500倍 (40g)	

5. 施 肥

対象品種	時期	肥料名	施肥量
早生、中熟、普通温州	5月下旬	熊本果樹肥料10-7-4 又は ひのくに果樹9-3-3	4袋/10a

農機センター・渉外担当者・受付先一覧

農機の点検・修理は私たちにお任せください!故障の際は、まずは各地区の担当者にお電話を!ご自宅や圃場まで駆けつけます!

【下島農機センター】0969 (78) 4980

担当地区	氏名	携帯電話
◎センター長	大石 進也	080-2724-7740
◎新和	大田 耕志	090-7449-6644
◎河浦	平田 博安	080-1725-4453
◎牛深	北野 伸二	080-1545-7529
◎天草	大石 進也	080-2724-7740

【上島農機センター】0969 (53) 1139

担当地区	氏名	携帯電話
◎センター長	福田 泰久	080-2722-1162
◎有明	福田 泰久	080-2722-1162
◎松島・姫戸	福田 泰久	080-2722-1162
◎倉岳・龍ヶ岳・御所浦	早崎 崇	080-2723-6986
◎栖本	百田 昇	080-2721-4125
◎工場	山口 祐介	080-2724-0320
◎工場	山田 良一	080-1545-2921
◎工場	宮崎 善徳	080-2774-0182

新型感染症 まん延防止対策実施中!

組合員や、職員・従業員安全を第一考え、主要の集荷施設及び金融店舗などにサーモセンサー式体温計を設置しています。体温管理と併せて、手指消毒もしっかり行っています。

JAの施設をご利用の際は、マスクの着用をお願いします。



上島集送センター